

予想しなかった、人との新しいつながり。



都会っぽくもあり
田舎っぽくもある
子育てにも、自分にも
ちょうど良い「まつど」のバランス。

濱野 千恵（はまの ちえ）さん

長野県出身、都内の化学メーカーに勤務。結婚を機に、2010年4月に松戸市・六実へお引っ越し。夫と保育園の送り迎えなど協力し合い、3人の子育てと仕事、自分時間のバランスをとりながら過ごしている。



都内の会社まで1時間圏内の
落ち着いたまちで
子育てをしたかった

結婚前は東京の国分寺市に住んでいた千恵さん。六実を選んだ理由を聞いてみると、「都内の会社まで通勤1時間以内で、子育てに適した落ち着いた雰囲気、場所がいいなと決めていました。そして、夫も私も戸建てで育ったので、戸建てに絞って探しましたね。結婚前に夫が馬橋に住んでいたこともあって、同じ松戸市内の六実に来てみたんです。都会っぽくない風景を見ていたら、自分が生まれ育った長野市を思い出して、ここだったら子育てができそうだなと感じました。実は夫が通っていたゴルフ練習場も近くて、夫がすぐく前向きでしたね。引越して驚いたことは、国分寺に住んでいた時は駅から近かったので、だいたい徒歩で済ませていました。でも、六実は車があった方が便利だったので、ペーパードライバーだったんですが、練習を頑張りました(笑)」と振り返る。

「おせっかいで守ろう子どもたちが
あたたかい

六実に来てから3人のお子さんを出産

し、長男は今年小学5年生に。「六実の小学校は、小規模なんですよね。息子が通っている学校は1学年20人のクラスが2つ。先生方と信頼関係を育むことができますし、子どもたちも学年全員の名前を覚えていきます。すごくアットホームですよ。運動会も混まないです(笑)。そして、まちの皆さんが毎朝、通学時間に見守りパトロールとして、まちかどに立ってくださいなんです。言葉が、『おせっかいで守ろう子どもたち』なんです。子どもの顔と名前もちゃんと覚えてくださっていて、『今日は遅いね!』など声もかけていただけ。『そついう地域のあたたかさ』がとても嬉しいですよ」と千恵さんは微笑む。

ママ友の口コミは間違いはない(笑)
相談も旅行もする仲間

夫婦そろって呑むことが好き。お店選びは、「ネットの情報より、ママ友の口コミを信頼しています。六実駅前にある『ひよっこりごん助』は、家族でもママ友同士でも楽しめる、まさに第二の食卓です(笑)。他にも、イタリアン『Kamado』や、焼肉屋『安安も行きつけです。ポーナス日など特別なときは、八柱にある焼肉屋『ぼたん』で贅沢をすることも」と千恵さん。ママ友付き合

いについて聞いてみると、「長男が保育園児のころは、1人目の子どもだったこともあって、ママたちとどういう距離感で接していいのかわからなかったのですが、卒園間近になって仲良くなった感じです。無理しなくていいんだと分かって、下の子たちを通じたママ友とも仲良くできるようにになりました。仕事や子育てのことを相談したり、家族ぐるみで関東近辺に車で旅行に行ったり。金曜日にLINEで連絡を取り合って仕事帰りに軽くお店で乾杯することもありますが、週末お互い

